昭和100年記念　令和８年度全日本少年少女武道（剣道）錬成大会
参加実施要項

１．日　　時　令和８年７月25日㈯ 午前８時40分入場行進開始 午前９時10分開会 午後４時30分閉会(予定)
７月26日㈰ 午前８時40分入場行進開始 午前９時10分開会 午後４時10分閉会(予定)

２．会　　場　日本武道館大道場　千代田区北の丸公園２－３
TEL 03-3216-5100
（東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線　九段下駅下車）

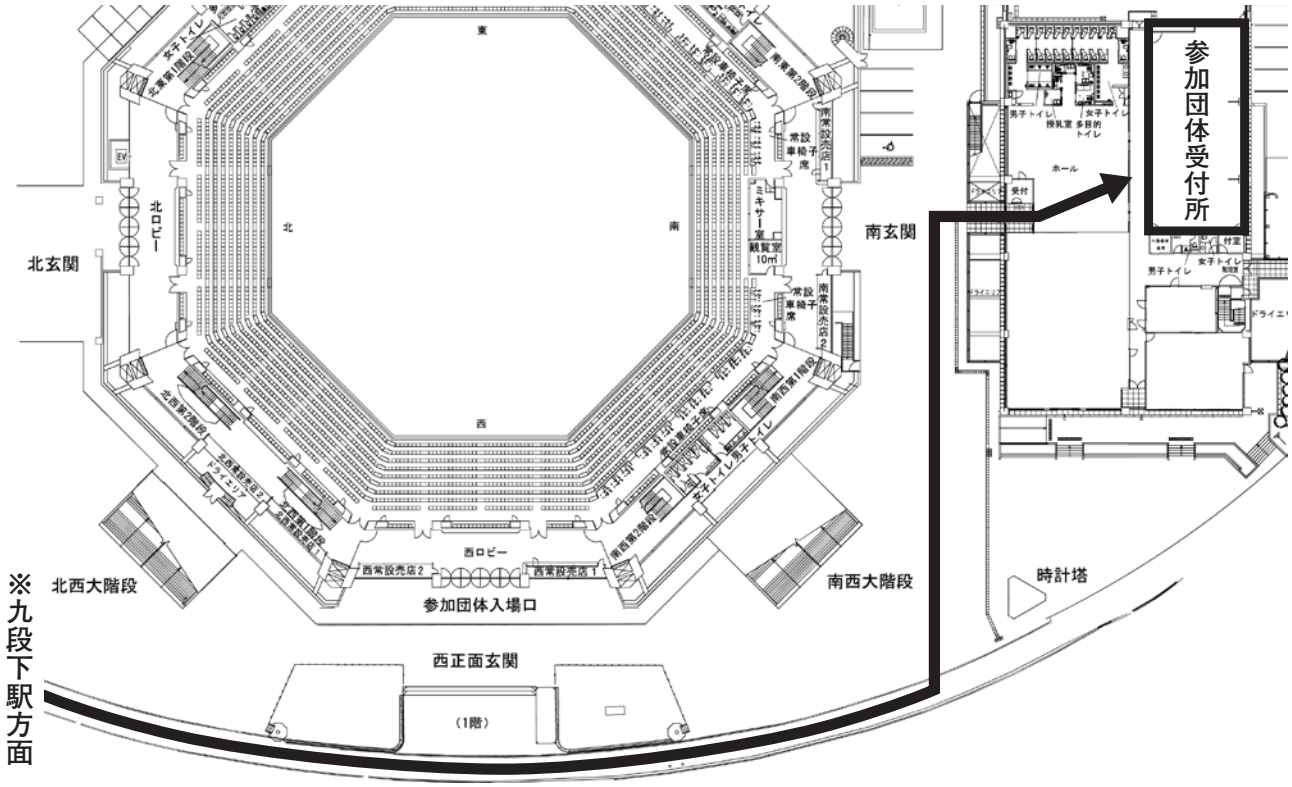
３．開　　場　午前７時30分
※前日夜間、また当日早朝からの入場待ちは禁止です（13ページ参照）。

４．受付方法

⑴ 受付時間　午前７時20分～午前８時20分（その後は大会本部で行います）
※監督・選手変更届の受付は会場内本部席横（大太鼓の横）にて行います。

⑵ 受付場所　日本武道館中道場棟１階控室（下図をご参照ください）

⑶ 受付方法　受付はブロック（２試合場）ごとに行います（当日、掲示板にて表示します）。
第１・２試合場→第１ブロック、第３・４試合場→第２ブロック、第５・６試合場→第３ブロック、
第７・８試合場→第４ブロック、第９・10試合場→第５ブロック、第11・12試合場→第６ブロック、
第13・14試合場→第７ブロック、第15・16試合場→第８ブロック



⑷　受付は大変混雑しますので、**代表者１名のみがお並びください。**入場の際は、整列入場にご協力ください。なお、**貼り紙やロープなどでの席取りは厳禁です。**

⑸　受付時に事前にメールでお送りした参加情報（メール本文、参加情報が分かる画面のスクリーンショット、またはメールをプリントアウトしたもの）をご提示ください。大会プログラム、参加章（記念品）、監督章（１枚）の入った袋をお渡しします。選手・監督以外は、地下２階大道場および練習場所（中道場）には入れません。

５．会 場 図

⑴　観覧席

関係者以外の地下２階、大道場及び正面役員・本部席への出入りは禁止します。

⑵　更衣所

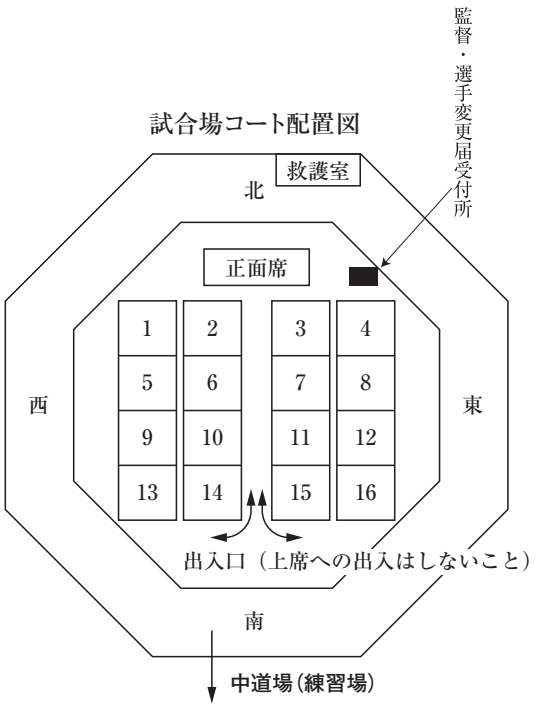
男子：１・２階観覧席または地下２階控室西１・西２・南西２

女子：地下１階会議室１～３

※控室はスペースに限りがあるため、譲り合ってご利用ください。

※荷物などは各自観覧席へお持ちください。

試合場コート配置図



⑶　救護室

救護室は本部席の裏側にあります。大会中は医師・看護師が待機しています。具合が悪くなった人は、大会本部に申し出てください。

⑷　練習場所

中道場を練習場所として開放します。下記の注意事項をご一読いただき、ご了承の上で譲り合って利用ください。

○中道場へは地下２階南側の通路よりお進みいただけます。

○中道場以外での練習（素振りなど）は禁止します。

○中道場は、試合前の練習（ウォーミングアップ）を目的とするものです。試合後のクーリングダウンや試合敗戦後の練習を目的に利用することはできません。

○大会の進行は予定から変更になる場合があります。試合に遅れないように試合進行状況にご注意ください（貴チームの３試合前までに試合場付近に待機してください）。

○開会式前に利用可能な時間は７時30分～８時15分です。

○ご利用の際は、必ず監督が引率してください。選手や補欠だけの利用はできません。また、監督、選手、補欠以外は入ることができません。

○靴はろう下には置かず、靴袋に入れて中道場内の棚へ置いてください。

○練習会場内での食事は禁止です。なお、水分補給は可能です。

○練習会場内にシートを敷いて座り込むなどの行為は禁止です。

○事故防止の観点から、混雑状況によって利用をお断りする場合があります。

○他団体の迷惑となる行為や危険な行為があった場合には、利用を中止させると共に、当該チームの退場処分を講じることがありますので、ご注意ください。

６．会場座席について

⑴ **安全の観点から、団体ごとに座席指定とします。座席は、主催者が抽選により、1団体12席分(選手・補員・監督・保護者等含む）を指定しますので、指定された場所で観覧してください。**座席位置は、７月23日（木）までに日本武道館HPで公開いたします。座席の希望や変更は一切受け付けませんのであらかじめご了承ください。なお､1団体12名を超える場合、超えた人数については３階席を自由席として開放いたしますので、そちらをご利用ください。

⑵ 応援は拍手のみとし、声援などを送らないでください。

⑶ 指定された座席に着席していない場合や、声援を送るなどの行為をした場合には、主催者が個別に注意したり、退館処分などを講じる場合がありますので、ご注意ください。

⑷ 各団体で責任をもって貴重品・持ち物の管理をしてください。なお、盗難について、主催者は責任を負いません。

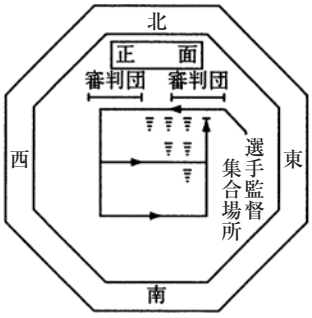
⑸ 本大会では、団体旗の掲示は禁止します。

７．集合及び入場行進

◎選手集合……８時20分（時間厳守）　◎入場行進……８時40分

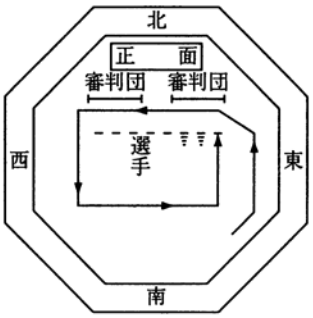
⑴ 各チーム監督を含む全員が胴と垂を着け、鉢巻をし、竹刀を持たずに集合してください。

⑵ 集合場所及び入場行進、整列方法、団体表示プラカードは、以下のとおりです。

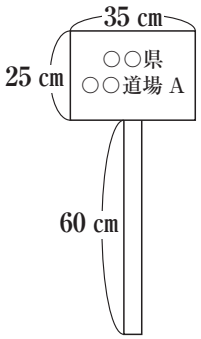


〔入場行進の仕方〕

東側から昨年度優秀チームを先頭に６列で並ぶ。



〔整列方法〕



〔プラカード〕

楷書ではっきりと書いてください。

ア．参加団体は、所属団体を表示するプラカードを持参してください（旗は禁止します)。
なお、プラカードは１チーム１つとし、２チーム出場の場合は２つ用意してください。

イ．プラカードは先頭の選手が持って入場し、監督はチームの最後部より入場してください（選手は背の低い順に前から一列に並んでください)。

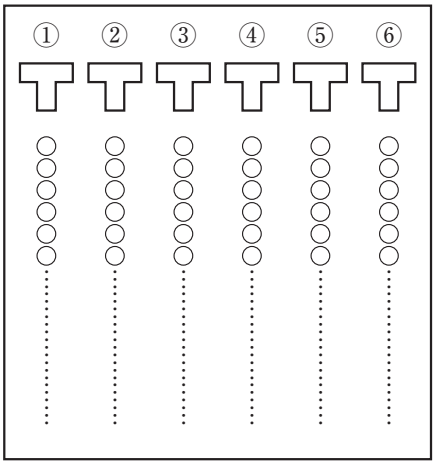
ウ．団体が正面に来ましたら、プラカードを正面に向けてください。

エ．プラカードは頭上に掲げて行進し、整列終了と同時にチームの足踏みをやめ、プラカードを下ろしてください。

⑶　入場の順番は、昨年度の優秀チームを先頭に、以下は選手集合場所、先着順とします。

⑷　横に６チームが並びます（ただし、優秀チームは４チームずつ並びます）。

⑸　観覧席から大道場への移動時は必ず靴やスリッパなどを履いてください。裸足での移動は禁止します。靴やスリッパなどは団体ごとにまとめて管理してください。靴袋など、必要なものはご持参ください。



８．開 会 式　　９時10分

国歌『君が代』が元気に歌えるように、事前のご指導をお願いします。

９．準備体操

開会式終了後、大道場にて木刀による剣道基本技稽古法の見学、簡単な準備体操を行います。

竹刀は必要ありません。

◎入場行進から準備体操終了まで、必ず全員参加してください。試合準備などのために途中退場することは一切認めません。監督は責任をもってご指導ください。

10．試合運営上の注意　　10時10分　※進行状況により早くなる場合もあります。

⑴　**試合場内（地下２階）には選手・監督以外は入れません。監督は必ず監督章を着用してください。**

⑵　試合前の準備体操、ウォーミングアップなどはしっかり行ってください。

⑶　試合場ごとに進行状況の分かる表示をしますので、自チームの試合の３試合前に試合場付近にて待機し、係員の指示に従ってください。なお、各試合場の進行状況及び当日の参加状況などにより試合場を変更することがありますので、放送などにご注意ください。

⑷　試合開始時に不在のチームは、３試合後の試合が終了した時点で不戦敗とします。

⑸　場外の反則はとりませんが、むやみに場外に出ないよう事前指導をお願いします。

⑹　**各チームの監督は、試合終了後、勝敗を確認するまで待機してください。**

⑺　地下２階控室東３、西３前にて、各試合場の試合結果を表示します。出場順序などの参考にしてください。

⑻　各団体は、赤白の目印（幅5cm×全長70cm）を両方お持ちください。監督含め６名分とします。**大会本部では貸出をいたしません。**

⑼　オーダー表は主催者が準備します。

⑽　**監督・選手は剣道具の黒または紺色の垂中央に白色で団体名（横書き）、姓（縦書き）を明記した布製の名札を必ず着けてください。**

⑾　竹刀の取扱について

①各試合前に必ず竹刀の点検を行ってください。

②竹刀の中には異物を入れないでください。

③鍔止めを必ず装着してください。

⑿　①大会当日、監督・選手の変更がある場合は、別添の**監督・選手変更届**に所定事項を記入し、会場内本部席横（大太鼓の横）の監督・選手変更受付で提出してください。提出しなかった場合、そのチームは失格となります。変更後の監督が他のチームと重複しないようにしてください。

②**変更受付時間は７時30分～８時20分とし、それ以降は一切受け付けません。**大会開始後、事故などによる欠員は、補員で充たすこととします。各試合場審判主任に、その旨を申告してください。

③**選手の変更は、プログラムに記載されている選手と補員との入替のみを認めます（大会当日、新たに選手・補員の登録はできません）。**ただし、登録済の選手・補員が学校保健安全法施行規則に定める学校感染症にかかった場合、新たに選手・補員の登録を認めます。その際は監督・選手変更係に診断書を提示してください。

④補員は欠員への補充のみとし、一度補充したら以降の変更はできません（補充は一度のみとします）。また、補員がいない場合で、当日欠員が出た場合も必ず監督･選手変更届を提出してください。

⑤欠員が生じた場合であっても、登録された選手の位置（オーダー）の変更は一切できません。

⒀　試合は試合場ごとに行い、各試合場の勝利チームがブロック決勝戦を行います。

（例：第１ブロック―１・２試合場　第２ブロック―３・４試合場……）

ブロック決勝戦、25日は第１・３・５・７・９・11・13・15試合場、

26日は第２・４・６・８・10・12・14・16試合場で行います。

⒁　欠場をする場合、必ず事前に（公財）日本武道館まで連絡をしてください。

大会前日まで（振興課）03-3216-5134　　大会当日（代表）03-3216-5100

11. 表　　彰

⑴　ブロックごとに表彰します。

◎　優秀賞（８チーム）……ブロック決勝戦で勝利したチーム

◎　優良賞（８チーム）……　　〃　　敗退したチーム

◎　敢闘賞（16チーム）……各試合場の決勝戦で敗退したチーム

⑵　優秀賞から敢闘賞までの個人にそれぞれ賞状・賞品、あわせてチームにも賞状を贈ります。

⑶　表彰は閉会式で行い、各賞は受賞チームの代表者に授与します。

⑷　優秀賞のチームには、日本武道館より優秀旗（持ち回り）を授与します（翌年、レプリカを贈呈）。

12. 感染対策について

本大会は９～11ページに記載の「試合実施要領」に準じて行います。したがいまして、試合錬成中は、「感染症予防ガイドライン」を適用します。団体内の周知徹底のご協力をお願いします。

◎ 諸 連 絡

事故防止についても以下の点に十分ご注意いただき、団体内での周知徹底をお願いします。

○大会運営上の禁止事項など

(1) **貼り紙やロープなどでの席取り及びフロアにシートを敷くことなどは禁止します。**

(2) 避難経路確保のため、地下2階通路の場所取りを禁止します。なお、発見次第撤去しますので、あらかじめご承知おきください。

(3) 開会式時、客席での私語は慎み、静かにお願いします。また、**式中（入場行進から準備体操まで）に抜け出して、練習を行うなどの行為は禁止します。**

(4) **監督章を団体内で使い回しするなどして、試合場内へ入り、写真撮影や応援などを行うことは禁止します。**

(5) 大道場以外の場所では必ず靴やスリッパを履いてください。

(6) 大会進行上支障がありますので、緊急の用事以外の呼び出しはできません。

○日本武道館使用上の注意事項

(1) 館内および北の丸公園内は禁煙です（喫煙は所定の喫煙所でお願いします）。

(2) 館内は冷房を入れております。扉は必ず閉めてください。

○事故防止・その他

(1) 本大会は館内への出入りが自由となっております。警備には万全を期していますが、各団体で責任をもって貴重品・持ち物の管理をしてください。なお、盗難について、主催者は責任を負いません。

(2) 所持品には必ず記名してください。

(3) 廊下・階段などでの駆け足は厳禁です。**特に、入館時の駆け込みは危険ですので、絶対に行わないでください。**

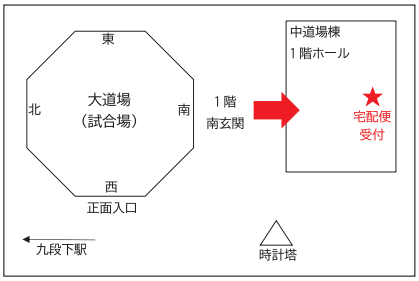
(4) 中道場以外での練習（素振りなど）は禁止します。

(5) 物を投げたり、特に竹刀を振り回したりしないでください。

(6) 堀の石垣や高い所で遊ばせないでください。

(7) 宅配便の受付を中道場１階ロビーにて行います（帰りの取扱のみ）。
※右図をご参照ください。朝の参加受付を行った建物です。
※受付は開会式から閉会式までです。

(8) **プログラム販売は行いません。**



◎安全管理について

(1) 大会実施中、万一事故によりケガをした場合は、医師または看護師により応急処置を施します。医師・看護師は地下２階の救護室に常駐しております。

(2) 当日病院で治療を受けた場合は、初診料を主催者が負担します。保険証等、医療機関を受診する際に必要な書類をご用意ください。

(3) なお、主催者では傷害保険に加入し、当日以降の入院・通院などについて適用します。

(4) 医師等により、脳しんとうの可能性や生命の危険性を否定できない症状と判定された場合は、当該の試合への参加はできません。

(5) 大会当日は体調管理に十分ご留意ください。体調が優れない場合は、団体責任者の判断で出場を控えるようにしてください。また、熱中症対策として、こまめな水分・塩分補給、適度な休憩を取るよう心がけてください。

問い合わせ先　(公財)日本武道館　振興課　TEL 03-3216-5134　FAX 03-3216-5117

昭和100年記念

令和８年度全日本少年少女武道（剣道）錬成大会要項

1．趣　　旨　全国の小学生を対象に基本を主眼とし、剣道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。

2．主　　催　公益財団法人日本武道館・公益財団法人全日本剣道連盟

3．後援(予定)　スポーツ庁・日本武道協議会

4．主　　管　一般財団法人東京都剣道連盟・東京都学校剣道連盟

5．期　　日　**令和８年７月25日（土）、26日（日）**

午前７時20分受付開始・８時40分入場行進開始・９時10分開会・16時30分閉会（予定）

6．場　　所　日本武道館　東京都千代田区北の丸公園2-3

7．参加資格　⑴　健康上支障ないと認められた小学４・５・６年生で、責任者のいる団体であること。

⑵　**監督は、全日本剣道連盟社会体育指導員（初級・中級・上級いずれか）の有資格者であることが望ましい。**

8．錬成種目および内容

試合錬成（団体試合）

⑴　試合は、16試合場（８ブロック）に分ける。

⑵　試合は、トーナメント方式で行い、基本判定試合及び１本勝負の総合判定によりベスト８を選出する。

⑶　各試合場のベスト８から上位の試合は、３本勝負とする。

⑷　各試合場の１位同士によるブロック決勝を行う。

※内容詳細は、別紙「試合実施要領」を参照のこと。

9．参加基準　⑴　１団体２チームまでの参加とする。

⑵　２チーム参加の場合は、**監督及び選手（補員を含む）の重複は認めない。**

⑶　**１選手１団体のみの登録**とする。

⑷　１チーム選手５名、補員１名、監督１名で編成する（学年順序不同・男女混成可）。なお、チーム編成上、やむを得ず選手が５名に満たない場合、４名の時は、「先鋒」、「中堅」、「副将」、「大将」に配置し、３名の時は、「先鋒」、「中堅」、「大将」に配置すること。

10．試合・審判規則

全日本剣道連盟「剣道試合･審判規則と同細則」、ならびに「感染症予防ガイドライン」および別紙「錬成大会試合実施要領」により行う。

11．大会当日の監督・選手変更

選手変更……**登録済の選手と登録済の補員との入替のみ認める。**その場で、未登録選手の補員登録はできない。

監督変更……**登録済の監督と未登録の監督との入替のみ認める。**同団体内で、Ａチームの監督とＢチームの監督を入れ替えることはできない。

※プログラムに記載された監督以外が元立ちを行うと失格となるので、変更をする際は必ず監督・選手変更届を提出すること。

12．表　　彰　⑴　各ブロックごとに、優秀賞（１チーム）、優良賞（１チーム）、敢闘賞（２チーム）の団体に賞状を、個人に賞状・賞品を贈る。

⑵　優秀賞のチームには日本武道館より優秀旗（持ち回り）を贈り、前年度の優秀賞受賞チームにはレプリカを授与する。

⑶　参加者全員に参加章を贈る。

13. 安全対策 (1) 安全管理には万全を期すが、大会中に万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施す。当日、病院などで治療を受けた場合は、主催者が保険の範囲内で初診料を負担する。本人のマイナ保険証等、医療機関を受診する際に必要な書類を持参のこと。なお、日本武道館では、武道大会傷害保険に加入している。

(2) **竹刀の検査は行わないが、監督は選手の竹刀の点検を試合ごとに十分行うこと。**

(3) 監督及び保護者は、参加者が過労にならないよう日程に留意し、特に、発熱等体調不十分の者は参加させないよう配慮すること。

(4) 監督及び保護者は、試合場内外における参加者の行動に十分注意し、事故防止に努めること。

(5) 医師等により、脳しんとうの可能性や生命の危険性を否定できない症状と判定された場合は、直ちに当該の試合への参加を中止とする。

14. そ の 他 (1) 本大会申込にて取得する個人情報は、大会の事務連絡及びプログラムなど、大会運営に関することに利用し、他の目的には使用しない。ただし、申込書に記載されている団体名・団体責任者名・住所などの情報は、(公財) 日本武道館及び(公財)全日本剣道連盟が主催する行事の案内などに利用することがある。

(2) 選手の学年詐称、本大会のために臨時で団体を結成するなどの不正行為が発覚した場合、大会当日該当するチームの出場を停止する場合がある。また、次回大会について当該団体の参加を認めない場合がある。なお、大会終了後に発覚した場合も同様とする。

(3) 主催者と公認報道機関等が撮影した本大会の写真・映像が、新聞・雑誌・関連ホームページ・SNS 等で公開および広報を目的として使用されることがある。

(4) 主催者では、宿泊斡旋業務は行わないので、各自で手配すること。なお、弁当の斡旋については、出場団体に対して後日案内する。

(5) 申込締切後の参加状況により、日本武道館内に入場することのできる保護者等の人数を調整する場合がある。

〔お問い合わせ先〕

(公財) 日本武道館振興課　　TEL　03-3216-5134　　FAX　03-3216-5117

(土・日・祝日を除く午前10時～正午・午後１時～午後５時)

以上

昭和100年記念

令和８年度全日本少年少女武道（剣道）錬成大会　試合実施要領

１．試合は指定した期日の参加チームを 16 試合場（8 ブロック）に分け、各試合場の１位がブロック決勝を行い、優秀賞（1)、優良賞（1)、敢闘賞（2）をブロックごとに決定する。

２．選手の竹刀の長さは、111cm（約 3.6 尺）以下とする。

３．大会内容

⑴　各試合場ベスト 8 進出までは下記の基本判定試合と１本勝負の 2 試合を行う。

㋐　試合内容　　ⓐ切り返し、打ち込み稽古　　ⓑ１本勝負

㋑　基本判定試合内容の詳細

監督が元立ちで、主審の合図により、先鋒の選手より下記の基本を続けて行う。

切り返し……正面打ち→前進して左右面 4 本、後退して左右面 5 本→正面打ち、以上 2 回繰り返す。『剣道指導要領』参照（全日本剣道連盟発行）

打ち込み稽古……指導者（元立ち）が与える打突の機会をとらえて打ち込んで、打突の基本的な技術を体得させる稽古の方法である。したがって、充実した気力で遠間から大技で、正しく・間合・姿勢などに留意し基本技・連続技・体当たり・引き技などを繰り返し、打突させる。『剣道指導要領』参照（全日本剣道連盟発行）

〇時間は切り返し・打ち込み稽古を含み 40 秒とする（各コートの時計係が計時を行う）。

〇元立ちの竹刀の長さも選手と同じ 111㎝（約 3.6 尺）以下を使用することが望ましい。

〇切り返し終了後、引き続き打ち込み稽古に入る（元に戻らない）。

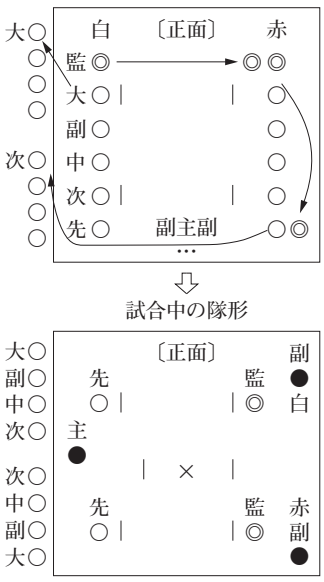
〇必ず監督が元立ちを行うこと。監督以外が元立ちを行った場合、失格とする。

㋒　基本判定試合及び審判要領

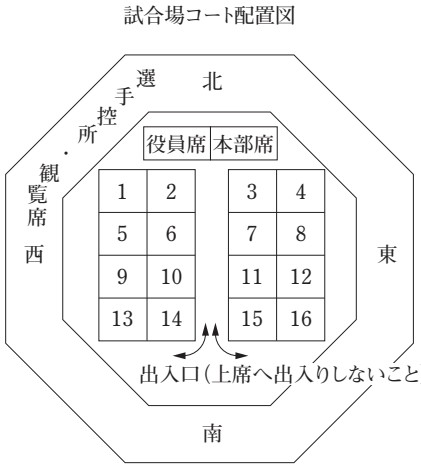
⒜試合開始及び終了の際の相互の礼は、監督・選手全員が面、小手をつけ竹刀を持って行う。

⒝相互の礼及び試合の隊形は、試合場により下記のとおりとする。

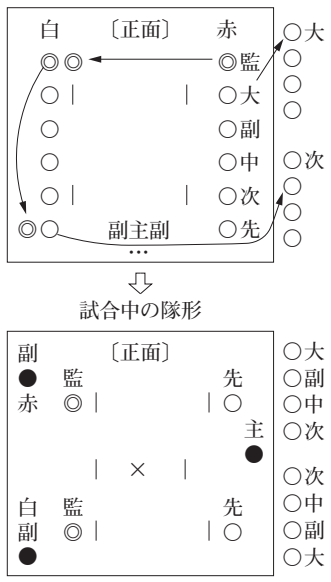
1･3･5･7･9･11･13･15 試合場の選手配置図



試合場コート配置図



2･4･6･8･10･12･14･16 試合場の選手配置図



⒞試合は、監督及び選手は立合の位置で立札をした後、開始位置にて先鋒より蹲踞で待機し、主審の「始め」の宣告により 40 秒間で切り返し、打ち込み稽古（元に戻らない）を続けて行う。

⒟主審の「止め」の宣告により打ち込み稽古を終了し、判定を待つ。

⒠勝敗は切り返し、打ち込み稽古の総合判定とする（判定基準は下記のとおりとする）。

(f)審判員は主審の「判定」の宣告で勝旗（赤･白）を上げる。主審は勝旗を確認し､「何対何､赤（白）の勝ち、勝負あり」と宣告する（引き分けは認めない)。

〔注：主審赤旗（白旗)、副審２名白旗（赤旗）の場合であっても、主審は旗を持ち替えずに宣告を行う〕

(エ) 試合要領と勝者の決定方法

(a)試合は基本判定試合と１本勝負を先鋒→大将の順に行う。

(b)１本勝負の試合時間は１分とし、勝敗の決しないときは引き分けとする。

(c)勝者の決定は、基本判定試合と１本勝負の勝者数、総本数の順により決定する。同数・同本数の際は、基本判定試合で勝ったチームを勝ちとする（1 本勝負での勝ち本数は１本とする)。

（例）勝者数・総本数同数でＢ道場が勝ちの場合（基本判定試合勝ちチームより）

団体名 Ａ道場	監督 伊藤	先鋒 鈴木	次鋒 高橋	中堅 渡辺	副将 加藤	大将 田中	基本判定試合 本　数 勝者数	1本勝負 本　数 勝者数	総本数 勝者数	勝敗
基本判定試合		1	2	1	1	1	6	3	9	×(負)
1本勝負		㋕	㋮	㋮			1	3	4	
1本勝負					×	×	9	0	9	○(勝)
基本判定試合		2	1	2	2	2	4	0	4	
団体名 Ｂ道場	監督 吉田	先鋒 斉藤	次鋒 中村	中堅 山本	副将 小林	大将 佐藤				

（例）Ａ道場が勝ちの場合（総本数より）

団体名 Ａ道場	監督 伊藤	先鋒 鈴木	次鋒 高橋	中堅 渡辺	副将 加藤	大将 田中	基本判定試合 本　数 勝者数	1本勝負 本　数 勝者数	総本数 勝者数	勝敗
基本判定試合		1	2	3	1	1	8	3	11	○(勝)
1本勝負			㋮	㋮		㋕	2	3	5	
1本勝負		㋕			㋮		7	2	9	×(負)
基本判定試合		2	1	0	2	2	3	2	5	
団体名 Ｂ道場	監督 吉田	先鋒 斉藤	次鋒 中村	中堅 山本	副将 小林	大将 佐藤				

(d)各試合場ともベスト８より３本勝負とし、勝敗を決する。

(e)相手チームが５名に満たない場合でも､相手のいない選手は基本判定試合を１名で行い､審判員は判定する。

(f)当該チームが、赤・白どちらになるかは、トーナメント戦組み合わせの若い番号を赤とする。

(2) 各試合場ともベスト８より、試合は下記により行う。

(ア) 全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則と同細則」および「感染症予防ガイドライン」により行う。

(イ) 試合開始及び終了の際の相互の礼は、選手全員が面、小手をつけ、竹刀を持って行う。

㈠　個人の試合は３本勝負を原則とし、試合時間は２分とする。勝敗は、試合時間内に２本先取した者を勝ちとする。ただし、一方が１本を取り、そのまま試合時間が終了したときは、この者を勝ちとする。

㈡　チームの勝敗は、勝者数、総本数により決める。同数の場合は代表者戦を行い、選手は任意とする。代表者戦は１本勝負とし、試合時間は２分ごとに区切り、勝敗の決するまで行う。

㈢　倒れた者に対する打突は有効としない。

４．基本判定試合判定基準

⑴　総合評価の着眼点

㈠　ただ速く動作ができているかではなく、「気剣体一致」の動作で行っているかを見る。

①剣道具・剣道着・袴の着装ができているか。

②正しい蹲踞ができているか。

③竹刀の持ち方は正しいか。

④しっかりと手首（刃筋）を返し、伸び伸びと大きな切り返しができているか。

⑤切り返しや技を出すとき、左こぶしが左右に動いていないか。

⑥応じ技を２本以上入れているか。

⑦その技は正しく動作しているか。

㈡　正しく一つひとつ見るためには、下記のような留意点を観察する必要があるが、少なくとも⑴総合評価の着眼点を見て判断する。

⑵　切り返しの留意点

㈠　竹刀の振り方は正しいか。

㈡　足の運びは正しいか（退き足が歩み足にならないか）。

㈢　左右面を打つ角度が、約 45 度になっているか。

㈣　「正面打ち」のとき、一足一刀の間合から打っているか。

㈤　竹刀の打突部で、打突部位を正しく打っているか（元立ちは左右面を必ず竹刀で受けること）。

㈥　「左右面打ち」のとき、左こぶしが正中線を通り相手の見えるところまで上がっているか。

㈦　「正面打ち」のとき、両腕が自然に伸び、左こぶしが中心（みぞおち）に納まっているか。

㈧　最後まで気合いと体勢が崩れないか。

⑶　打ち込み稽古の留意点

㈠　足さばきは正しいか。

㈡　技に適した足さばきができているか。

㈢　間合取りが適切か。

㈣　技が正確（気剣体一致）であるか。

㈤　最後まで気合いと体勢が崩れないか。

㈥　残心がなされているか。

５．その他

⑴　竹刀の検査は行わないが、各監督は選手の竹刀の点検を試合ごとに十分行うこと。特に、ビニールやセロテープを巻いた竹刀は使用させないこと。

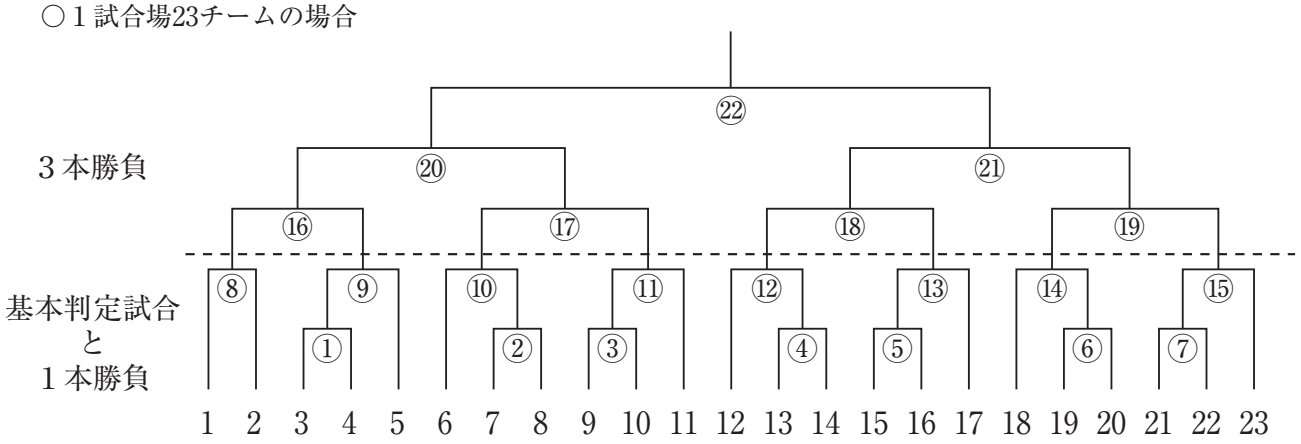
⑵　**各チームの監督は、当該試合終了後、勝敗をよく確認すること。**

⑶　試合中は面マスク、又はシールドの着用をすること（両方の着用も可とする）。

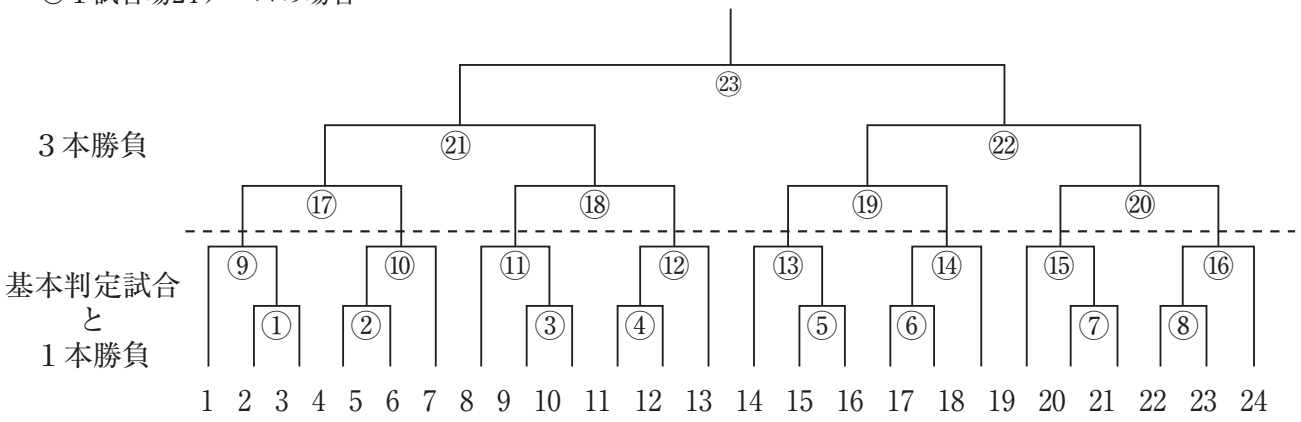
以上

試合順序（トーナメント）

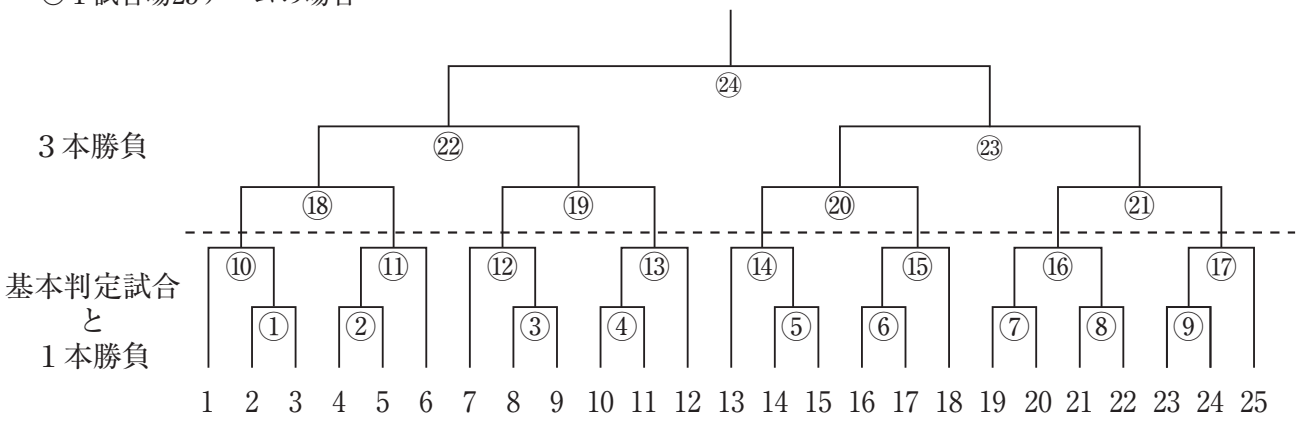
○１試合場23チームの場合



○１試合場24チームの場合



○１試合場25チームの場合



日本武道館からのお願い

団体責任者の方は、必ずご確認いただき、会場にお越しになる保護者の方、
団体関係者の方へ、事前にご説明くださいますようお願いいたします。

一、前日夜間からの入場待ちは禁止です

・入場待ちのための徹夜行為は、日本武道館周辺の方や北の丸公園利用者の迷惑になるとともに、お客様の安全を守るため、固く禁止といたします。
・主催者による整列開始以前に独自に列を形成されても、その列は無効とします。
・入場時、並んでいる方以外の人を列に合流させる割り込み行為は禁止です。
・**以上のことから、本実施要項に記載のとおり、主催者による座席指定とさせていただきますので、あらかじめご承知おきください。**

一、前日夜間からの駐車場待ちは禁止です

・日本武道館前の駐車場は、北の丸公園が管理する有料駐車場です。日本武道館の駐車場ではありません。大会中、公園管理事務所が特別に開門時間を早めて対応しています。
・錬成大会中の駐車場情報（北の丸公園第三駐車場）

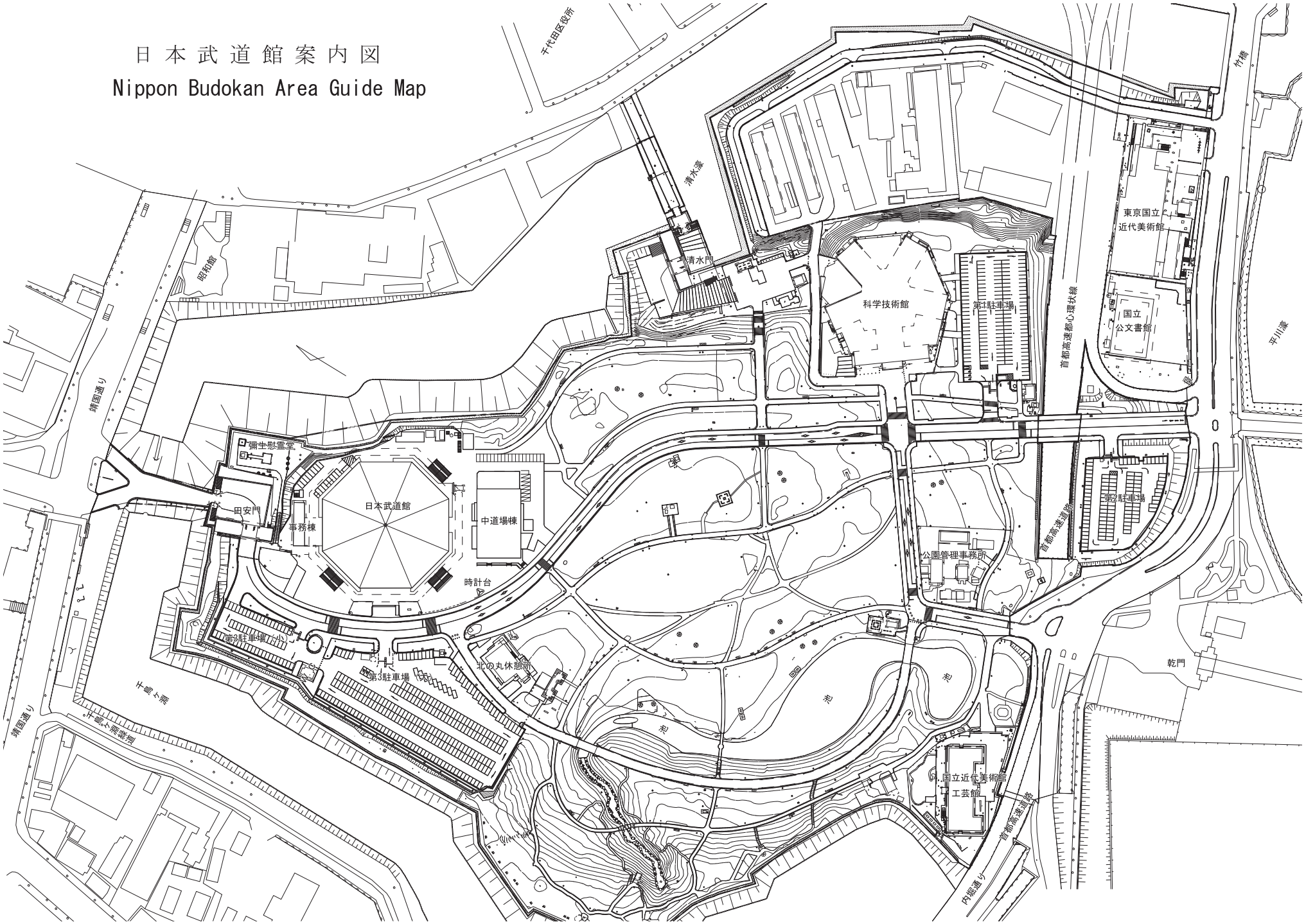
	大型車（マイクロバス含む）	普通車
入庫開始時間	６時３０分から	
入 庫 台 数	７０台	１００台
駐 車 料 金	整理清掃協力費　終日　７，０００円	整理清掃協力費　終日　３，０００円

・北の丸公園駐車場は、大型バス優先です。台数に制限があり、すべての方にご利用いただく余裕がありません。また、事前の予約、留め置きもできません。
・前日夜間からの駐車場待ちは、事故やトラブルの原因となりますので禁止します。
・**駐車場は大会終了後 30 分で閉門します。大会後は速やかな車の移動にご協力ください。**

一、地下鉄など公共交通機関をご利用ください

前日夜間からの徹夜行為や、係員の指示に従わない駐車場待ちの渋滞が発生し、公園や周辺道路の利用者、近隣の方々から多数苦情が寄せられ、対応に苦慮しています。渋滞緩和・事故防止のため、当日早朝に、地下鉄等の公共交通機関でお越しください。

令和８年度武道錬成大会が、武道に励む少年少女たちの良い思い出となりますよう、円滑な大会運営のために、皆様のご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

日本武道館案内図
Nippon Budokan Area Guide Map